

研究課題名：鎖肛術後の合併症および長期排便機能についての検討 に関する情報公開

1. 研究の対象

1999年1月～2017年12月31日までに当院にて高位および中間位鎖肛に対する手術を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

目的：高位および中間位鎖肛に対する治療として、当院では以前より後方矢状切開肛門形成術（PSARP）を行ってまいりました。2013年からは体への負担が小さい（侵襲度が低い）と考えられる腹腔鏡補助下肛門形成術（LAARP）が導入されましたが、その術後成績についてはまだ十分に評価されておりません。この研究では鎖肛術後の合併症と長期排便機能について術式ごとに検討することを目的としています。

方法：1999年1月1日から2017年12月31日までに当院小児外科で高位および中間位鎖肛に対する手術を受けた患者さんの術後経過および転帰について、診療情報より後方視的に検討する。

研究期間：実施承認日～平成32年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、手術記録、副作用等の発生状況、排便の状況、カルテ番号 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 名古屋大学大学院医学系研究科小児外科

電話 052-744-2959

名古屋大学大学院医学系研究科小児外科 田井中貴久 (研究責任者)